



チームメンバーとNIPPO社員らによる記念撮影（NIPPO提供）

国際ロードレースで 個人総合時間賞優勝

NIPPOチーム
ファッブロ選手

NIPPOがスポンサーを務める自転車ロードレースチーム「ソリューションテックNIPPOラーリ」が、国内最大級の国際ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン2026」（5月24～31日）に出場した。所属のマッテオ・ファッブロ選手（イタリア）が個人総合時間賞で優勝。カミル・ボヌー選手（ベルギー）も2位に入り、ワンツーファイ

ニッシュュで国内外の強豪を相手に高い実力を発揮した。

大会は8日間にわたって本州で開催され、各地のステージにNIPPOの社員が応援に駆けつけた。31日の最終ステージは東京都品川区の大井埠頭で行われ、道から声援を送った。

NIPPOは1985年にロードレースチームを創設。現在もプロチームのスポンサーを務めるなど、長年にわたり自転車競技を支援。スポーツ振興などの社会貢献活動に取り組んでいる。

国内最大級大会で 所属選手が優勝

NIPPO支援の ロードレースチーム

NIPPOがスポンサーを務める自転車ロードレースチーム「ソリューションテックNIPPOラリー」が、5月下旬に開催された国内最大級の自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン2026」で好成績を収めた。チーム所属のマツテオ・ファツプロ選手が個人総合時間賞で優勝、カミル・ボナー選手も2位に入賞した。

最終日の東京ステージでは、同社社員や家族などが会

場に駆け付けた。早いメンバーは朝9時から現場で応援ブースを設営、最終的には約90人が集まった。午前11時の開始の合図と同時に、沿道から声援を送り、チーム所属選手を熱烈に後押しした。

選手は堺・京都・いなべ・大鹿・信州飯田・富士山・相模原・東京の8ステージ、総延長639.1^{キロ}を8日間で走り、その合計時間で競い合った。

同社がロードレースチームを創設したのは1985年。施工していた競輪場の舗装工事が縁で、自転車競技との関わりが深まり、チーム発足の運びとなった。



選手、社員、家族で記念写真